

【令和3年度】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

NO	事業名	事業概要	事業 始期	事業 終期	総事業費	臨時交付金充当額	事業実績	効果
1	web会議環境整備事業	庁内での新型コロナウイルス感染者発生時など迅速にリモートでの会議・打合せが可能になるよう、市役所内のweb会議環境を整備する。	R3.4	R4.3	4,224,990	4,122,833	リモート会議に必要な環境を整備した。 ・ネットワーク整備、web会議用モニター13台、カメラ13台、PC10台	庁内での新型コロナウイルス感染者発生時など迅速にリモート会議・打合せが可能となり、事業を継続することができた。
2	公共交通運行継続支援金交付事業	新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者の減少など大きな影響を受けている公共交通事業者に対して、事業の継続に向けた支援を行うため、支援金を交付する。	R3.4	R3.9	7,290,000	7,290,000	新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者の減少など大きな影響を受けていた公共交通事業者に対して、事業の継続に向けた支援を行うため、支援金を交付した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた交通事業者の事業継続を支援することができた。
3	福祉タクシー事業者継続支援金交付事業	新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者の減少など大きな影響を受けている福祉タクシー事業者に対して、事業の継続に向けた支援を行うため、支援金を交付する。	R3.4	R4.1	660,000	660,000	市内の福祉タクシーを所有する7事業者に対して支援金を交付した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける福祉タクシー事業者の事業継続を支援することができた。
4	生活困窮者食糧支援事業	食糧支援を必要とする生活困窮者を支援するため、社会福祉協議会から食糧支援を行う。	R3.4	R4.3	1,037,339	1,037,339	支援を必要とする生活困窮者に対して食糧支援を行った。また、フードバンク用の冷蔵庫を購入した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける生活困窮者の生活を支援することができた。
5	市内児童福祉施設等従事者慰労金給付事業	国の医療従事者等に対する慰労金支給事業の主旨に準じ、社会生活維持のために欠かせない児童福祉施設等の従事者に慰労金を支給する。	R3.4	R3.9	9,817,896	9,817,896	児童福祉施設等の従事者327人に慰労金を支給した。	社会生活維持のために欠かせない児童福祉施設等の従事者に慰労金を支給することで、児童福祉施設等を継続して運営してもらうことができた。
6	プレミアム付電子旅行商品券発行事業（第2弾）	プレミアム付き電子旅行商品券を発行し、市内観光関連事業への誘客促進を図る。	R3.4	R4.2	176,993,615	56,993,615	プレミアム付電子旅行商品券を発行した。 ・販売数 4,000円×30,000セット	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光産業の支援及び市内経済の回復を図ることができた。
7	「新たな生活様式」を踏まえた海水浴場等開設対策事業	牛窓海水浴場の開設を見送ったことを周知し、人が密集しての感染拡大を避けるために、看板の設置や誘導員の設置を行う。	R3.7	R3.9	799,700	799,700	海水浴場管理運営委託を行い、海水浴場の開設をしない旨の看板の設置や誘導員の設置を行った。	海水浴場に訪れる人を減らし、人が密集することなく、地域での感染拡大を抑制することができた。
8	体温検知機能付き顔認証カメラ購入事業	美術館来館者の体温検知を素早く行うため、体温検知器付き顔認証カメラを導入する。	R3.4	R3.9	198,000	198,000	市立美術館に体温検知器付き顔認証カメラを導入した。	新型コロナウイルス感染症に対応した施設運営を行うことが出来た。
9	非接触式サーマルカメラ導入事業	公民館来館者への検温実施のため、非接触式サーマルカメラを導入する。	R3.4	R3.9	471,900	471,900	公民館に非接触式サーマルカメラを3台導入した。	新型コロナウイルス感染症に対応した施設運営を行うことが出来た。
10	図書館の管理維持体制持続化事業	市民図書館に体温検知器を設置するとともに、図書館利用者が使用する座席間にアクリルパーテーションを設置する。	R3.4	R3.9	449,800	449,800	市民図書館に体温検知器及びアクリルパーテーションを設置した。	新型コロナウイルス感染症に対応した施設運営を行うことが出来た。
11	病院事業会計繰出金	市民病院の院内感染防止のための機器を整備する。	R3.6	R3.9	490,000	490,000	市民病院の院内感染防止のために病室内に陰圧ブースを設置した。	市民病院の院内感染防止に必要な設備を整備し、コロナに感染あるいは疑いのある入院患者へ使用することで、院内感染防止に配慮しながら病院運営を継続することができた。
12	病院事業会計繰出金	市民病院に電子カルテ等を導入し、測定したバイタルサインを電子カルテにタイムリーに送信することで新型コロナ感染症患者の受入れによる看護師の業務負担の軽減を図る。	R3.5	R3.11	4,180,000	4,180,000	市民病院に患者のバイタルサインを電子カルテにタイムリーに送信するスポットチェックモニターを導入した。	スポットチェックモニターを導入することで、新型コロナウイルス感染症患者の受入れによる看護師の業務負担の軽減を図ることができた。

NO	事業名	事業概要	事業 始期	事業 終期	総事業費	臨時交付金充当額	事業実績	効果
13	コミュニケーションツール導入事業	LGWAN対応のビジネスチャットツールを導入することで、機密の保持に対応しつつ、遠隔でのコミュニケーションができる環境を整備する。	R3.10	R4.3	1,157,310	1,157,310	LGWAN対応の職員用ビジネスチャットツールを導入した。 ・501ライセンス	コロナ感染拡大時等の職員のリモートワーク時に、機密の保持に対応しつつ、遠隔でのコミュニケーションができ、継続的な業務運営を行うことができた。
14	テレワーク・分散勤務体制整備事業	庁内での新型コロナウイルス感染者発生時など、通常体制での勤務が困難になった際に、迅速にテレワークや分散勤務を実施し、業務を継続する環境を整備する。	R3.8	R4.3	27,319,741	27,282,341	庁内のテレワーク・分散勤務に必要な環境整備を行った。 ・テレワーク用PC50台、Wi-Fiルーター10台、システム構築など	庁内での新型コロナウイルス感染者発生時など、通常体制での勤務が困難になった際にも継続して業務を行うことができた。
15	市営バス感染防止対策事業	市営バスの車内感染予防対策として、運転席と乗車スペースにスクリーンを設置し、感染拡大を防止する。	R3.7	R4.3	264,000	264,000	市営バス6台の運転席と乗車スペースにスクリーンを設置した。	市営バスの車内感染予防対策を行うことで、市営バスの運行継続と、利用者の幹線予防につながり、安全安心な運行に寄与した。
16	感染対策強化推進事業	「新しい生活様式」に対応した事業継続を支援し、感染防止対策の強化を支援する。新型コロナの影響が長期化する状況において、地域経済の停滞を防止し、事業者の経営継続・雇用の維持を図る。	R3.7	R4.3	31,333,019	30,304,000	感染防止対策の強化に取り組む市内の369事業者に対して、感染対策用品の購入費用を助成する補助金を交付した。	「新しい生活様式」に対応した事業形態への移行を後押しし、市内事業者の経営継続・雇用の維持を図ることができた。
17	市内宿泊施設緊急支援事業	宿泊事業者の緊急支援として、宿泊料の割引を行った宿泊事業者に対して、割引相当額を支給する。	R3.7	R4.2	29,829,926	29,829,926	4,060人に対して市内宿泊施設の宿泊費の割引を実施した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により売り上げが落ち込んでいる市内宿泊事業者へ補助を行うことにより、市内への観光客誘致及び宿泊事業者の売上回復につながった。
18	保育対策事業費補助金	コロナウイルスの影響で発生したかかりまし経費や備品について補助することで、事業の安定した継続を図る。	R3.4	R4.3	4,220,794	2,111,794	市内保育園（公立4園、私立2園）・こども園（公立2園、私立1園）の規模に応じて、必要なかかりまし経費を補助した。	市内保育園・こども園・認可外保育施設の支援を行い、市民の必要とするサービスの安定した継続を図ることができた。
19	子ども・子育て支援交付金	コロナウイルスの影響で発生したかかりまし増し経費や備品について補助することで、事業の安定した継続を図る	R3.4	R4.3	8,417,936	2,807,936	放課後児童健全育成事業者（16クラブ）、認定こども園・保育園（一時保育事業3園、地域子育て支援拠点事業3園）、病児保育事業者（2事業者）の規模に応じて、必要なかかりまし経費を補助した。	放課後児童健全育成事業者、認定こども園・保育園、病児保育事業者の支援を行い、市民の必要とするサービスの安定した継続を図ることができた。
20	教育支援体制整備事業費交付金	幼稚園における消毒の徹底のために消毒剤等を購入する。	R3.4	R4.3	100,658	50,000	幼稚園へ消毒液、液体せっけん等の衛生消耗品を購入した。	感染症予防に配慮して、幼稚園の学習を継続することができた。
21	学校保健特別対策事業費補助金	各学校が感染症対策等を徹底しながら、児童生徒の学習保障をするための取組を実施するにあたり必要となる経費を支援する。	R3.4	R4.3	11,706,200	5,800,000	小中学校の規模に応じて、感染防止のための消耗品、備品等の経費を支援した。	各学校が校長の裁量で実情に応じて必要な感染症対策等を徹底したため、児童生徒の学習を問題なく継続することができた。
22	公共交通運行継続支援金交付事業（第2弾）	新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者の減少など大きな影響を受けている公共交通事業者に対して、事業の継続に向けた支援を行うため、支援金を交付する。	R3.9	R4.1	6,790,000	6,790,000	新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者の減少など大きな影響を受けていた公共交通事業者に対して、事業の継続に向けた支援を行うため、支援金を交付した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた交通事業者の事業継続を支援することができた。

NO	事業名	事業概要	事業 始期	事業 終期	総事業費	臨時交付金充当額	事業実績	効果
23	指定管理施設休業等対策支援金支給事業	市の要請等に基づき、指定管理施設の休業等や再開に向けた感染防止対策を講じた指定管理者に対する支援金の支給によって、指定管理施設の安定した管理運営を維持する。	R3.10	R4.3	7,926,000	7,926,000	指定管理施設管理者4団体に支援金を交付した。	指定管理施設の休業に対する支援や、施設再開に向けた感染防止対策を講じることができた。
24	水田経営継続支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により米価が大幅に下落したことから、次年度の水田経営の継続を支援する。	R3.12	R4.3	46,420,090	46,420,090	市内500の米販売農家に対し、生産面積に応じ、次期作の生産費の一部を支援する補助金を岡山市農業協同組合を通じて交付した。	米価下落の影響を受けた米販売農家に対し、次期作の経営意欲を継続するための支援をすることができた。
25	公立学校情報機器整備費補助金	ICTの活用を推進し、コロナ禍における児童生徒の学びを保障するため、ICTに関する知識・技術をもったGIGAスクールサポーターを配置する。	R3.4	R4.3	5,789,520	2,895,520	GIGAスクール構想を円滑に進めるため専門員を1名配置した。	ICTの専門知識を持つ専門員を学校に配置することで、GIGAスクール構想を円滑に実施することができた。
合計					387,888,434	250,150,000		